

令和6年度 障害者差別解消に関する周知啓発の取組について

1. 事業者や市民を対象とした啓発

(1) パンフレットの作成・配布

①障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット

平成 28 年度に作成した「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を増刷し、関係機関やイベント等で配布することで、障害者差別解消に関する周知啓発を行う。

また、パンフレットを紹介するホームページを修正し、パンフレットの内容や相談先について掲載したほか、SNS においても年4回程度（6月、9月、12月、2月（予定））、定期的に周知を行った。



令和6年度配布内訳（12月末時点）	区分	配布先	配布部数	前回配布
	医療機関等	4医師会所属医療機関	812部	令和5年度
		歯科医師会所属医療機関	610部	令和5年度
		医師会・歯科医師会に所属していない医療機関	489部	令和5年度
		薬剤師会所属薬局	360部	令和5年度
	企業等	飲食店（西区・北区・大宮区・見沼区・岩槻区エリア）	3,184部	令和3年度 令和4年度
		理美容店	2,929部	令和5年度
		公衆浴場施設	107部	令和5年度
		彩の国ふれあいプラザ	50部	
	研修	出前講座（国際学院埼玉短期大学）	90部	令和5年度
		出前講座（社会福祉協議会）	20部	令和5年度
	イベント	手話応援	300部	
		「障害者週間」市民のつどい	2,494部	
		みぬまふれあいフェア	200部	
		鉄道ふれあいフェア	200部	
		イオンさいたま市フェア	200部	
		岩槻区内図書館「障害者週間」啓発コーナー展示	30部	
		ピアショップ	100部	
	合計		12,175部	

②合理的配慮提供促進事業

ノーマライゼーション条例に基づき、事業者が合理的配慮の提供を容易に行うことができるようにすることを目的に、事業者が行う合理的配慮の提供に要する費用の一部に対し、補助金を交付する事業を令和元年度から開始している。

今年度は、より多くの方に活用いただけるよう、以下のとおり周知を行うとともに、SNSにおいて周知を行った。

令和6年度 周知内訳 (12月末 時点)	区分	チラシ配布先	チラシ配布部数
	医療機関等	4 医師会所属医療機関	812 部
		歯科医師会所属医療機関	610 部
		医師会・歯科医師会に所属していない 医療機関	489 部
		薬剤師会所属薬局	360 部
	企業等	飲食店(西区・北区・大宮区・見沼区・ 岩槻区エリア)	3,184 部
		理容室・美容院	2,929 部
		公衆浴場施設	107 部
	一般市民向け	市報さいたま8月号	—
	合計		8,491 部

令和6年度 補助実績(令和6年12月末時点)

事業所名	対象経費	購入した物
細井クリニック(北区)	物品購入費	置き型手すり 筆談ボード
南浦和クリニック(南区)	物品購入費	スロープ
いろどり内科クリニック (桜区)	物品購入費	置き型手すり
金子歯科診療所(中央区)	物品購入費	スロープ
女性専用ヘアサロン Produce(見沼区)	物品購入費	筆談ボード スロープ
オリジナルワン美容室 (大宮区)	物品購入費	スロープ
須賀医院駅前ハートクリニッ ク(浦和区)	物品購入費	スロープ

(2) イベントにおける周知

①大宮アルディージャ手話応援

ノーマライゼーションの普及を目的として、障害のある人もない人も一緒に大宮アルディージャを手話で応援する「大宮アルディージャ手話応援デー」において、啓発活動を実施。

日 程	令和6年7月13日（土）
会 場	NACK5スタジアム大宮
来場者数	1,500 人
内 容	「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を配布したほか、試合前の市長挨拶において、ノーマライゼーション条例の周知を実施。
開催までの流れ	毎日興行株式会社が事務局となり、手話応援実行委員会を組織し、この実行委員会が主催で、3、4回事前会議を行い、当日に向けた企画や調整を行っている。当課は、後援という形で参加している。

②「障害者週間」市民のつどい

障害者への理解と関心を深めていただくとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的に開催している、「障害者週間」市民のつどいにおいて、啓発活動を実施。

日 程	令和6年12月7日（土）
会 場	プラザノース、市民広場、きたまちしましま公園
来場者数	2,494 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・稲川淳二氏による基調講演 ・障害者団体によるブース展示 ・ダンスや演奏などのステージ発表 ・障害・難病者制作品展 ・障害者団体や施設による販売コーナー ・障害者スポーツの体験ブースを実施。
開催までの流れ	さいたま市障害者協議会に企画部分を委託している事業で、障害者協議会に加盟している団体から実行委員を選出、年5、6回実行委員会を実施し、当日の企画内容や人員配置等を行っている。当課は、共催という形で参加している。

③さいたま市ノーマライゼーションカップ

ノーマライゼーション条例とその理念を市民に周知啓発するために平成 24 年度から実施しているイベント。今年度は、女子日本代表チーム対女子インド代表チームによる試合を開催する予定。

日 程	令和 7 年 2 月 15 日（土）
会 場	サイデン化学アリーナさいたま（記念総合体育館）
内 容	女子日本代表チーム対女子インド代表チームの試合を実施するほか、ブラインドサッカー、フライングディスク、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等の体験ブースを設置予定。
開催までの流れ	日本ブラインドサッカー協会へ委託している事業で、日本ブラインドサッカー担当者と市の担当者と内容を協議しながら、当日の企画を練っている。当課は、共催という形で参加している。

（３）研修の実施

障害福祉サービス事業所を対象とした研修の実施①

市内障害福祉サービス事業所を対象とした、集団指導に合わせ、障害者差別に関する研修を実施。障害者差別解消法について説明するとともに、厚労省の福祉事業者向けガイドラインを引用し、事業者に求められる合理的配慮等について研修を実施した。

実施方法	ホームページへの掲載
全体受講者	市内障害福祉サービス事業所
内 容	障害者差別解消法について
アンケート結果	「研修の理解度」100%（回答数 413 件） 「研修の役立ち度」99.8%（回答数 413 件）
開催までの流れ	監査指導課が実施している、指定障害福祉サービス事業所等集団指導。昨年度までは会場での講義型で実施しており、当課も 1 コマ講師として参加していたが、今年度よりホームページへの資料掲載へと変更となった。そのため、当課の内容については、その他関連項目として、ホームページを作成し、リンクを監査指導課のホームページに掲載してもらっている。

障害福祉サービス事業所を対象とした研修の実施②

さいたま市内の障害福祉サービス事業所職員に対する講義やグループワークを通じて、障害者差別解消、障害者虐待防止及び権利擁護に関する知識の習得を図ることを目的に、今年度より研修を実施した。

日程	令和 6 年 12 月 16 日（月）午前 10 時～午後 3 時 30 分
会場	浦和コミュニティセンター 多目的ホール
実施方法	講義・グループワーク形式
全体受講者	障害福祉サービス事業所等の施設長、管理者、虐待防止等のための責任者

内 容	障害者差別解消、障害者虐待等についてのスポット講義 テーマごとのロールプレイ
参加定員	86 名（各法人 1 名まで）
開催までの 流れ	例年、監査指導課で実施している集団指導を虐待・差別の研修の場としていたが、資料掲載となったことに伴い、障害者差別と虐待に関する内容の研修を別途、障害福祉課企画管理係と新たにグループワーク形式で実施した。 講師やファシリテーターについては、埼玉県と同研修で幹事となっている方々に依頼している。

2. 市職員を対象とした啓発

①「障害を理由とする差別の解消に関する職員研修」の実施

さいたま市職員として、障害を理由とする差別の解消を推進するために必要な知識を習得することを目的に実施。

日 程	令和6年 11 月 20 日（水）										
受講者	市職員 412 名										
内 容	障害のある方への対応の基本について、障害者差別解消法について 災害時等における知的障害・発達障害者に対する配慮・支援について 被災地支援の体験及び医療現場から見た視覚障害者に対する配慮・支援について										
アンケート 集計結果	<p>【研修の理解度】</p> <p>「障害のある方に対する対応の基本について」の講義の内容は理解できましたか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ よく理解できた ■ まあまあ理解できた ■ あまり理解できなかった ■ 理解できなかった</p>	理解度	割合	よく理解できた	55%	まあまあ理解できた	44%	あまり理解できなかった	1%	理解できなかった	0%
理解度	割合										
よく理解できた	55%										
まあまあ理解できた	44%										
あまり理解できなかった	1%										
理解できなかった	0%										

	<p>【ノーマライゼーション理解度】</p> <p>本日の研修で、「ノーマライゼーション」について理解できましたか。</p> <table border="1"> <caption>ノーマライゼーション理解度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合あり。</p>	理解度	割合	よく理解できた	43%	まあまあ理解できた	54%	あまり理解できなかった	3%	理解できなかった	0%
理解度	割合										
よく理解できた	43%										
まあまあ理解できた	54%										
あまり理解できなかった	3%										
理解できなかった	0%										
アンケート集計結果	<p>【自由記載欄（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害・発達障害がある方との関りがほとんどないため、とても参考になりました。 ・窓口が中心となる現職場においては、接遇面で大変参考になる内容でした。 ・防災訓練実施時に、各種障害者に積極的に参加してもらえれば、貴重なデータ収集になると思います。 ・避難所での対応について、障害を持つ方の御家族から話を聞いたのは貴重な経験だった。 										
開催までの流れ	<p>幅広く障害について職員に知ってもらうことを目的に、数か年のサイクルで様々な障害種別の方に順繰りでお話し、その障害の特性や配慮事項等についてお話をいただいている。</p> <p>当事者や家族以外の講師については、時事的なものも考慮しつつ、大学教授等の有識者へアプローチし、お引き受けいただいている。</p>										

②「ノーマライゼーション推進市職員研修」の実施

市の幹部職員が、障害についての理解を深め、ノーマライゼーション社会の実現に向けて取り組む姿勢を市民に示すことを目的として研修を実施。

日 程	令和6年12月25日（水）
会 場	ときわ会館5階大ホール
受講者	市長、副市長、各局区長等幹部職員 38 名
講 師	埼玉県ボッチャ協会事務局長 村田 由美子氏 外
内 容	パラスポーツの歴史についての講演とボッチャ体験。
開催までの流れ	障害種別ごとに数か年サイクルでお声がけをし、講義と体験を実施している。

3. その他

「全日本盲導犬使用者の会」創立 30 周年式典をさいたま市で開催するにあたり、障害者差別解消の取組の一環として、ホームページでの情報提供の強化や SNS での発信を行った。